



❏ 高分子分析及びキャラクタリゼーションに関する国際会議」兼「第15回高分子分析討論会」報告【2010】

2010年12月8～10日の3日間、高分子分析研究懇談会主催の標記国際会議兼討論会が名古屋国際会議場にて開催された。この会議は、高分子分析研究懇談会設立50周年を記念し、毎年開かれている「高分子分析討論会」を国際会議に拡大して開催された。海外からの招待講演者や発表者を含め参加登録者数は300名を超え、発表件数も過去最高に並ぶ100件に達し、懇談会設立50周年の節目に相応しい盛大な会議となった。例年の討論会は2日間の開催であるが、今回の国際会議は8件の招待講演が行われたため、3日間の開催となった。

本会議は、大谷肇実行委員長（名工大）の挨拶で開会した。初日および2日目は、午前中は招待講演者による講演（初日は2件、二日目は3件）、午後はポスター発表1回と招待講演1件がそれぞれ行われた。3日目は、2回のポスター発表および招待講演1件が行われた。ポスター発表は、昨年同様2分半のプレビュー講演後、1時間半のポスター発表を行う形式で進められた。初日および2日目のプレビュー講演はすべて英語で発表され、3日目も英語による発表が多かった。ポスター会場では、海外からの参加者も加わり、英語も飛び交い活発な質疑応答が行われていた。発表内容は、分光学的手法、質量分析法や諸クロマトグラフィーなどの分析手法に加え、添加剤分析や劣化解析などのアプリケーションなど多岐にわたる高分子キャラクタリゼーションに関する報告がなされた。

欧米・アジアにて当該分野の第一線で活躍している海外研究者による招待講演では、1) フィールドフローフラクショネーション（FFF）、原子間力顕微鏡（AFM）、HPLCなどのクロマトグラフィー、質量分析法、NMRや振動分光法といった分析技法の開発及び応用や、2) 耐熱性ポリマー材料の合成及び特性評価や、再生ポリマー材料などの劣化機構の解明に関する下記8件の講演が行われた。いずれの講演も、海外の最新の研究動向をリアルタイムで知る貴重な機会となった。

"Advances in Polymer Characterization by Field-Flow Fractionation Methods" Josef Janca (Tomas Bata Univ., Czech Republic)

"High-Resolution Visualization and Compositional Analysis of Polymers with Atomic Force Microscopy" Sergei Magonov (Agilent Technologies, USA)

"HPLC characterization of complex polymers" Taihyun Chang (Pohang Univ. Sci. Technol., Korea)

"Frontiers in Polymer Characterization by Mass Spectrometry" William E. Wallace (NIST, USA)

"Effect of Temperature on the Structure of Polybenzoxazines: Polymerization, Structural Rearrangement, and Degradation" Hatsuo Ishida (Case Western Reserve Univ., USA)

"Chromatography and Mass Spectrometry for Analysis of Chemical Structure Changes during Degradation of Inert and Renewable Polymers" Sigbritt Karlsson (The Royal Inst. Technol. [KTH], Sweden)

"New Ways to Study Fluoropolymers with Multidimensional NMR" Peter L. Rinaldi (Univ. of Akron, USA)

"Recent Advances of Chemical and Physical Characterization of Polymers by Vibrational Spectroscopy" Heinz W. Siesler (University of Duisburg-Essen, Germany)

2日目の夜には懇親会が開催された。まず、中村洋日本分析化学会会長（東理大）による歓迎の挨拶に続き、招待講演者が紹介され、招待者を代表してJanca先生（Tomas Beta Univ.）の挨拶が行われた。その後、大関博懇談会運営委員長（旭化成）による乾杯の発声により開宴し、ライトアップされた噴水を眺めながらの賑やかな懇親会となった。

優秀発表に対する表彰として、歴代運営委員長・実行委員長および招待者などの選考による「審査員賞」が2件、ポスター発表者を中心とした投票による「ポスター賞」が4件選出され、懇親会席上およびクロージングセレモニーにて大関委員長から授与された。ポスター賞のうち3件は、女性研究者が選ばれ、健闘が光った。受賞者は下記のとおり。

審査員賞：

“The Analysis of Synthetic Polymer by High Energy CID Using MALDI-SpiralTOF/TOF” 佐藤貴弥氏（日本電子）

“Characterization of Terpolymers of Methacrylates by Multivariate Analysis of ^{13}C NMR Spectra” 直野辰哉氏（徳島大）

ポスター賞：

“High Resolution Interface Structure Analyses of Obliquely Sliced Polymer Bilayer Films by Local Thermal Analysis” 丹治範文氏（花王）

“Evaluation of Biodegradation Behavior of Poly(butylene succinate-co-butylene adipate) by Reactive Pyrolysis-Gas Chromatography in the Presence of Organic Alkali” Baidurah Siti氏（中部大）

“Elution Behavior of Cationic Polymers on Size Exclusion Chromatography” 岡崎玲子氏（東ソー分析センター）

“Change in Physical and Chemical Properties of the Black Lacquer Film with Ultraviolet Irradiation” 神谷嘉美氏（都産技研）

なお、この国際会議の特集号が国際論文誌 “International Journal of Polymer Analysis and Characterization” から出版される予定となっている。また、来年は東京地区で第16回の討論会を開催する予定である。

最後に、本国際会議にご後援・ご協力頂きました関係各位に感謝を申し上げます。

[愛知県産業技術研究所 松原秀樹]

